

# 芦屋市指定文化財 芦屋川の文化的景観 芦屋川の歴史 6

## 芦屋川が育んだ歴史

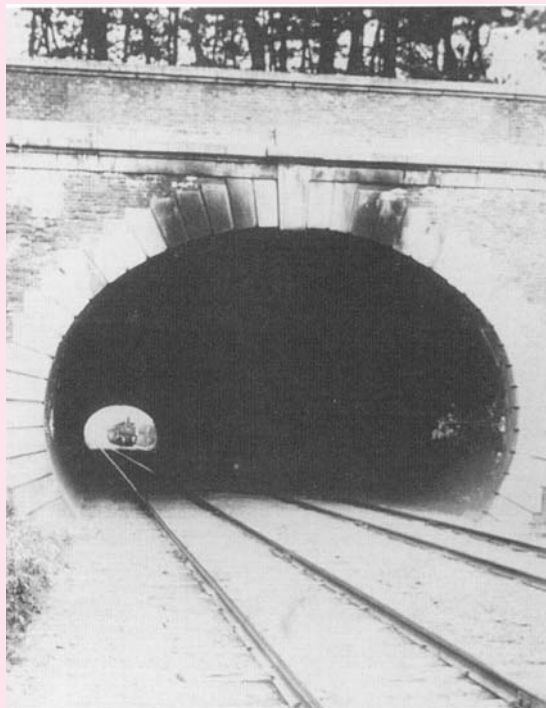
芦屋川の名は古代や中世に、すでにみられます。この川が育んできた歴史は長く、そして豊かなものです。その歴史をみれば、先史・原始から変遷を遂げてきたことがわかります。

芦屋川の周辺では、地形の影響を受けて、その右岸(西岸)側と左岸(東岸)側において、ようすが大きく違います。具体的には、水害を受けずに比較的安定している右岸側には集落が営まれてきたのに対して、洪水の被害を多く受けてきた左岸側は集落があまり営まれませんでした。

このように、芦屋川の両岸において環境が大きく異なっていたことが、右岸域と左岸域それぞれの土地利用の歴史に大きな影響を与えてきたのです。

## 近現代の芦屋川

芦屋では、明治時代になっても、江戸時代と同じように農業を中心とする生活が続いていました。芦屋川の流域では、集落が点在し、村々の周りには田畑や山林が広がっていました。そのような中、明治7年(1874)には、文明開化



芦屋川隧道(明治7年[1874]開通)

を象徴する官設鉄道(現在のJR東海道本線)が大阪と神戸の間に通し、芦屋川の川底下をくぐる芦屋川隧道が建設されました。芦屋が農村から住宅都市へと大きく変化していったのは、市域に鉄道の駅や停留場が開設され、交



阪神電鉄芦屋川橋梁(明治39年「1906」発行の絵葉書)

通の利便性が高まったからです。明治38年(1905)には、阪神電鉄が開通し、芦屋停留場と打出停留場が開設されました。続いて、大正2年(1913)には、国鉄芦屋駅が開設、大正9年(1920)には、阪神急行電鉄(現在の阪急電鉄)神戸線の開通により芦屋川停留場が開設されました。昭和2年(1927)には、阪神国道電車が開通し、「山打出」芦屋駅前「芦屋川」津知の4停留場が設置されました。

このような交通の整備を背景に、大阪・神戸の実業家たちが風光明媚(めいび)な住環境を求めて、芦屋川を中心とする駅や停留場の周辺に邸宅を建てはじめたのです。こうした交通の発達とともに、明治40年(1907)ごろからは芦屋市の前身である精道村(明治22年「1889」)と昭和15年(1940)

の前身である精道村(明治22年「1889」)と昭和15年(1940)

がつくり上げられ、芦屋川の改修事業とともに、その後の都市の形成に大きな役割を果たしました。

によって芦屋川の改修工事が実施されました。また、明治40年(1907)には、村営芦屋川堤塘遊園地(芦屋遊園地、現芦屋公園)が開園しました。そして、大正8～11年(1913～16)に12区分けて実施された土地耕整理事業によつて整然とした街路区画

精道村が積極的に進めた芦屋川の改修工事はそれまでの堤防の内側に新たに堤防を築いて川幅を狭めることによつて、土地を造成する手法がとられました。大正4～5年(1915～16)には、芦屋川の第1次大改修工事が実施されました。

### 【主な参考文献】

- 『芦屋 今むかし』 芦屋市1990年
- 『市制施行50周年記念写真集』 芦屋市1990年
- 『芦屋子ども風土記』第1～9集 芦屋市文化振興財団1992～2000年
- 『芦屋のうづりかわり』 (市制施行50周年記念写真集) 芦屋市1990年
- 『芦屋の自然』自然観察ガイドブック 環境課2008年
- 『芦屋の生活文化史』 民俗と史跡をたずねて 芦屋市教育委員会1979年
- 『新修芦屋市史』本編 芦屋市1971年
- 『新修芦屋市史』続編 芦屋市2011年
- 『みんなで語り、伝えよう！芦屋川物語』 六甲の川物語 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所ホームページ

※このページでは、生涯学習課が発行した「芦屋川の歴史」を広報国際交流課が再編集して紹介しています。



芦屋川流域の市街地化のようす(明治前期・昭和前期 神戸都市地図)清水靖夫 編 1995 柏書房

# 武庫川女子大学 オープンカレッジ

## 平成27年度春学期のご案内 (4月27日より随時開講)

広告

● **受付開始日**  
4月13日(月)から電話で受講申し込み開始  
講座によってお申し込み日が変わります。  
お届けする講座案内でお確かめください。

● **受講資格**  
男女年齢を問いません。  
勉学意欲があれば、どなたでも会員になれます。

● **会員特典**  
本大学の中央図書館が利用できます。(利用カード発行手数料が必要です)  
特別学期期間中(1月～2月)大学の正規の講義を学生とともに無料で受講できます。

● **開講講座**  
花いちりん描く/万葉集/座禅/心理学/女声合唱/アリアを歌う/水彩画/パステル画/英語/中国語/太極拳/現代文明の本質と行方...等

多彩な計29講座  
5～10回授業 各10,000円～20,250円(別途会員登録料3年:3,000円)  
講座内容はHPでもご覧いただけます。  
URL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~opencoll/>

● **随時資料請求・お問い合わせ受け付けます。**  
**TEL.0798-67-1450** 3/20～4/5除く  
月～金 10:00～16:00 土・日・祝日は受け付けておりません。